



ViCO
Technologies

2021年 3月期 決算補足説明資料

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社



2021年 5月10日

証券コード:6698

1. 2021年 3月期 決算概要

2. 2022年 3月期 業績予想

1. 2021年 3月期 決算概要

2. 2022年 3月期 業績予想

事業概況

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業活動に制限を強いられる状況が継続しているものの、次世代通信規格「5G」対応スマホ用電子部品及び車載向け電子部品が好調。当初予想を上回り前年対比増収増益を達成
- 「5G」対応スマホ用電子部品のうち、特にセラミック部品、MEMS用が大きく伸長
- 中国子会社及びタイ子会社業績は好調に推移し、いずれも売上高・利益ともに過去最高を更新
- 新規市場開拓活動については、展示会が軒並み中止となるなど、販促活動は一部停滞したものの小型展示会（プライベートショー）を限定的に開催し、注力分野に焦点を絞った営業活動を実施

開発投資

- 開発投資は人的投資を継続的に行い、計画どおり進捗
- 新用途・新市場への拡販を目的とした新製品開発、AI技術の効果的活用への研究開発
- 既存製品の新規検査アルゴリズム開発（高付加価値製品開発）を積極的に推進

人材開発

- 開発技術部門、営業部門中心に増強し、ほぼ当初計画どおりの体制に
- 上場来開始した新卒採用継続、次世代を担う若手人材を確保、人材育成に注力
- 人事制度を一新し、社員の意欲喚起。社員個々人が自由な発想ができる風土醸成への取り組み継続

2021年 3月期 連結決算ハイライト

- 日本国内及び中国を中心に5G関連部品向けが伸長し、前年対比8.4%売上高増加
- 特に、第4四半期における日本国内の売上となる受注増加により、当初予想に上積み
- 人員増強により人件費関連費用が増加したが、販促・営業関連費用減少効果により増益寄与

(単位：百万円)

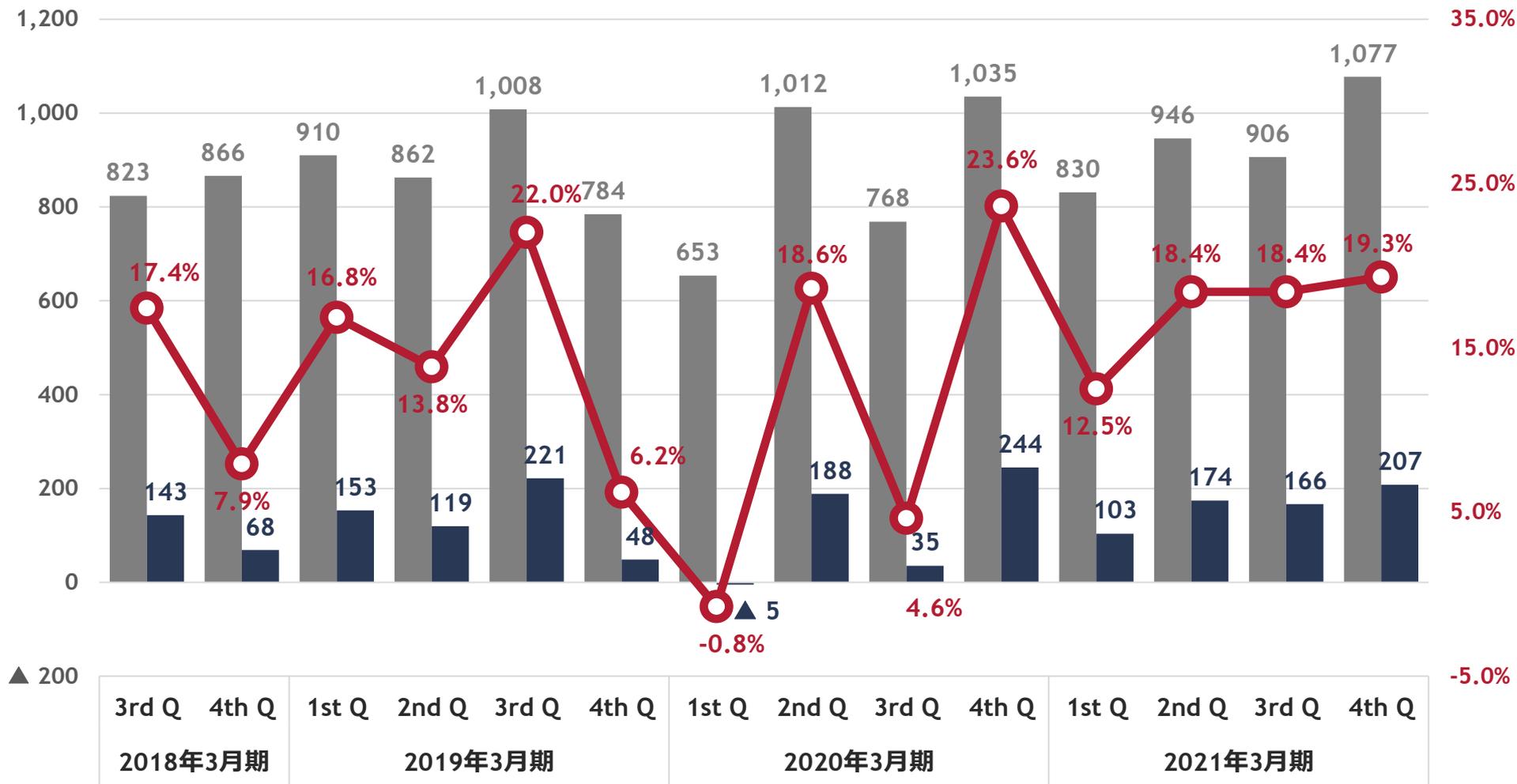
	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前期実績 比較
売上高	3,470	3,760	+290 108.4%
営業利益	463	652	+188 140.7%
経常利益	425	639	+214 150.3%
親会社株主に帰属する純利益	304	431	+126 141.8%
1株当たり純利益 (単位：円)	47.64	67.78	+20.14 -

連結売上高・損益 四半期推移

■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率

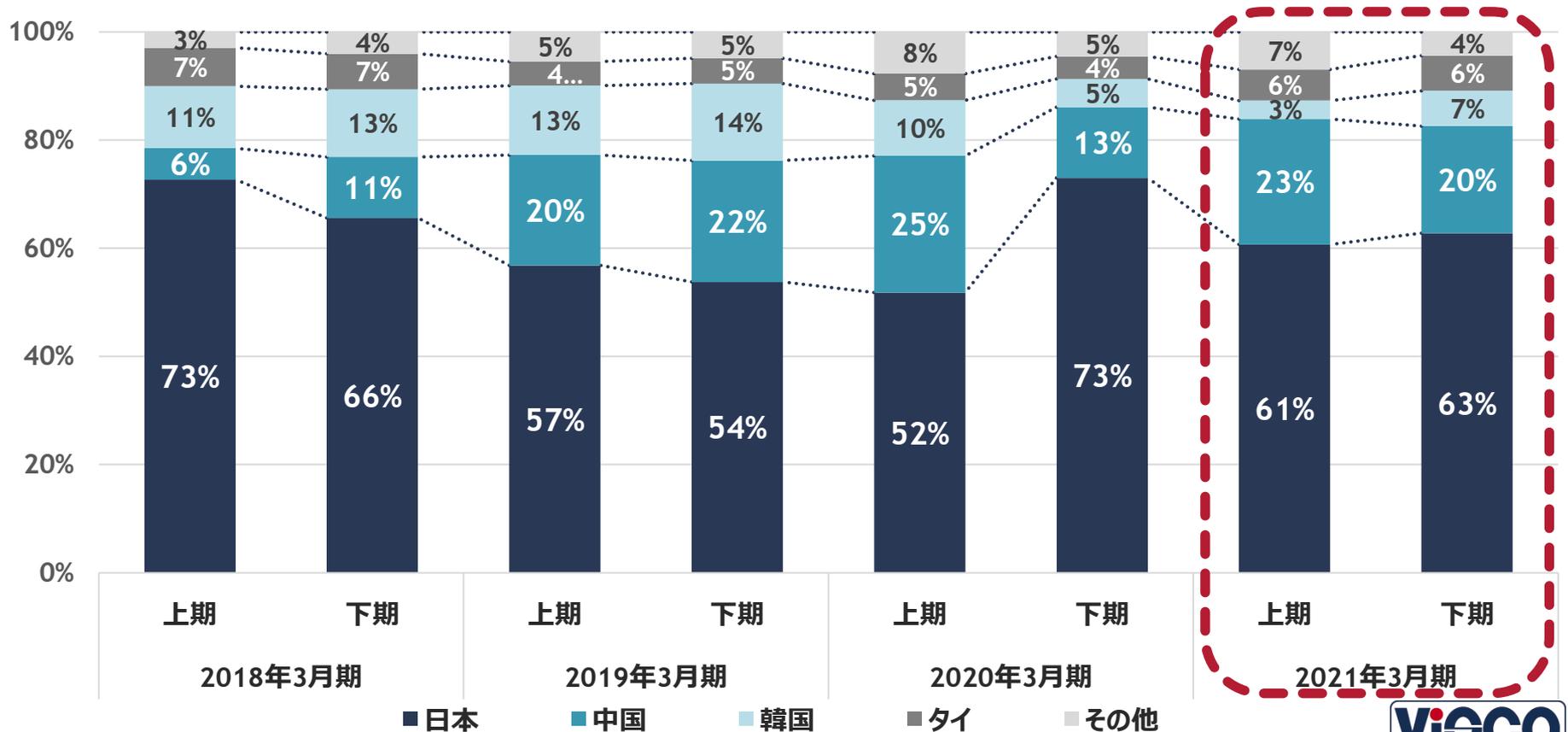
(単位：百万円)

(単位：%)



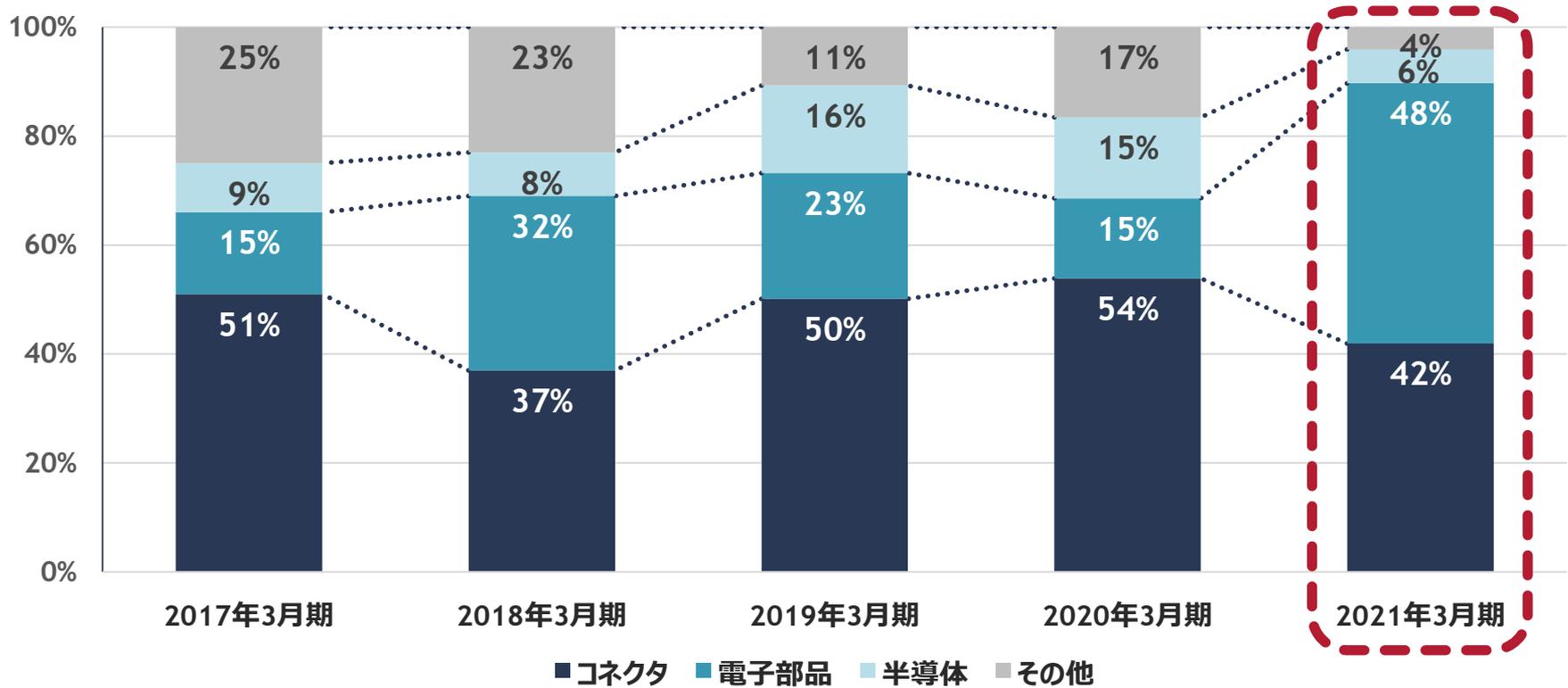
得意先地域別売上高推移(連結)

- 国内向けは、5G関連、車載用、巣ごもり需要によるPC等民生機器好調を背景に前年同期比で増加
- 中国向けは、新型コロナウイルス感染拡大からの回復が想定以上に早く、5G対応スマホ部品向け中心に売上高更新
- 韓国向けは2020年3月期後半から低調が続いていたが、2021年後半から回復の兆し
- マレーシア新会社活動開始（2020年4月）に伴い、現地での引き合い商談数が増加し今後期待



検査用途別売上高構成推移(連結)

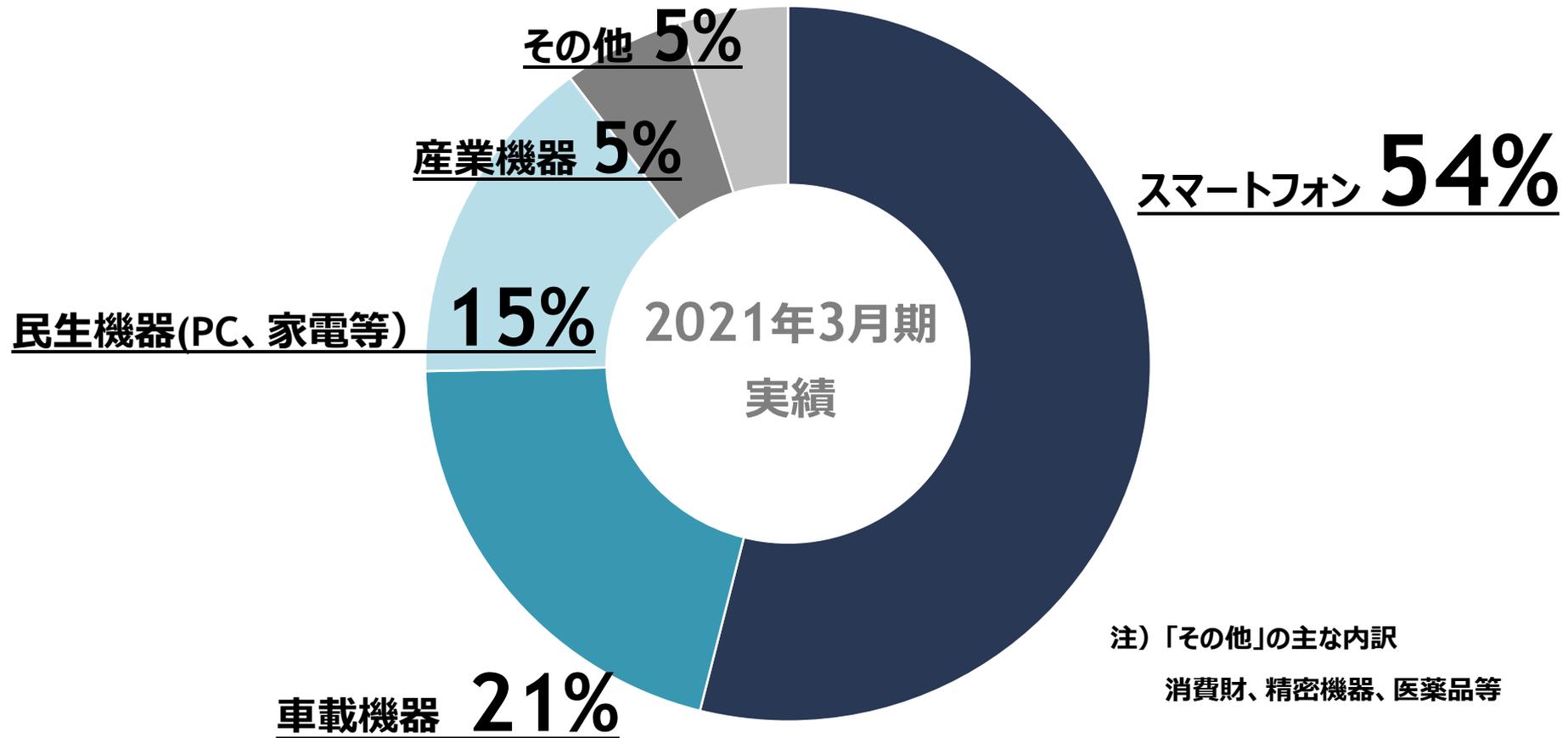
- 電子部品向けは、5G関連スマホ用のコネクタ、セラミック部品、及びMEMS検査用途等が伸長
- コネクタ向けは、上期韓国向けが低調だった一方で、5Gスマホ関連・車載関連シフトが進み堅調に推移
- 新規開拓を中心に伸ばす予定の「その他」(医薬、機械部品、素材、食品など)は、新型コロナ影響に伴う営業活動制限の影響もあり減少したが、一部、医薬品容器検査の新規顧客獲得



注) 従来「その他」の用途に含めていた内容を精査し、LED検査用など、一部電子部品領域に近いものを今期より「電子部品」にて集計しております。

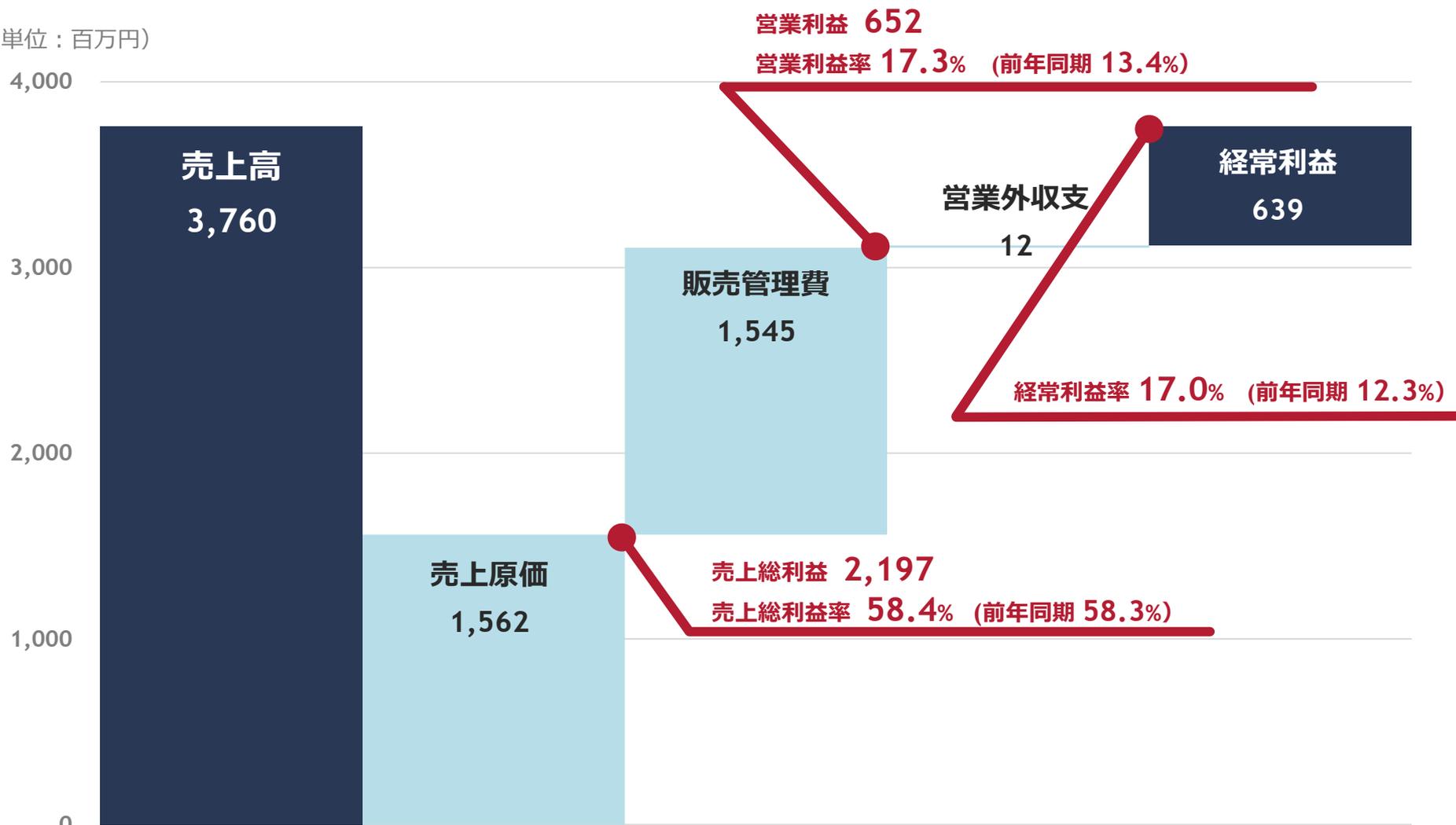
最終用途別売上高構成(連結)

- スマホ用は、コネクタ、電子部品を中心に当社主力用途となっているが、車載向けも拡大している
- 引き続きコネクタ・電子部品・半導体分野の拡大をしつつ、他分野への用途拡大も目指す

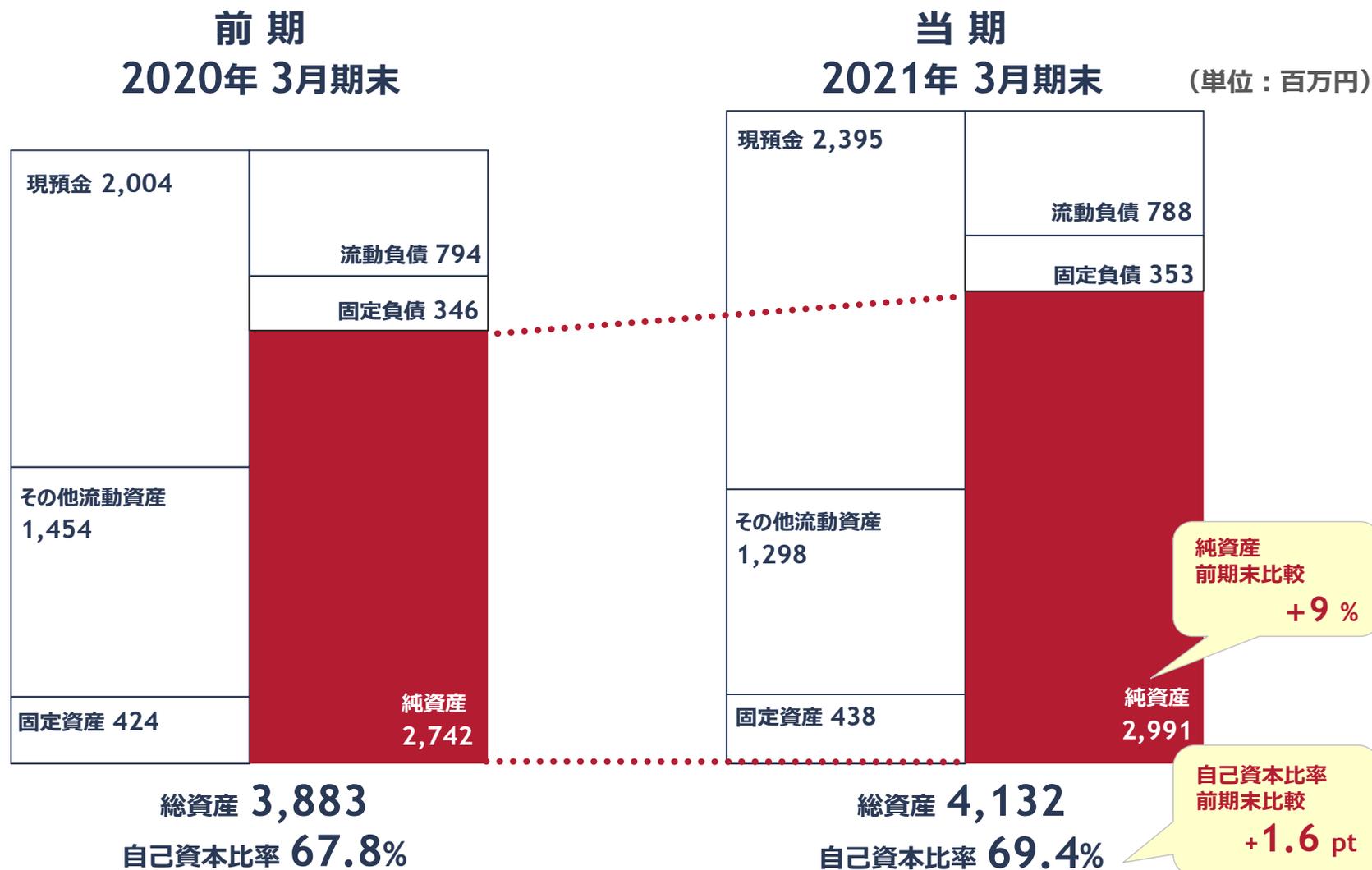


2021年 3月期 連結決算經常損益分析

(単位：百万円)



2021年 3月期 連結貸借対照表



- 新市場への拡販を目的とした新製品開発に注力
- 従来、画像処理検査が困難であったテーマに取り組み、高付加価値製品開発研究を強化（2021年3月期において1件の特許取得）
- マシンビジョン分野におけるAI利用の欠点を補い、当社独自のAI機能搭載に向けた研究
- 昨今の環境を考慮し、既存製品のリモート制御機能の拡充

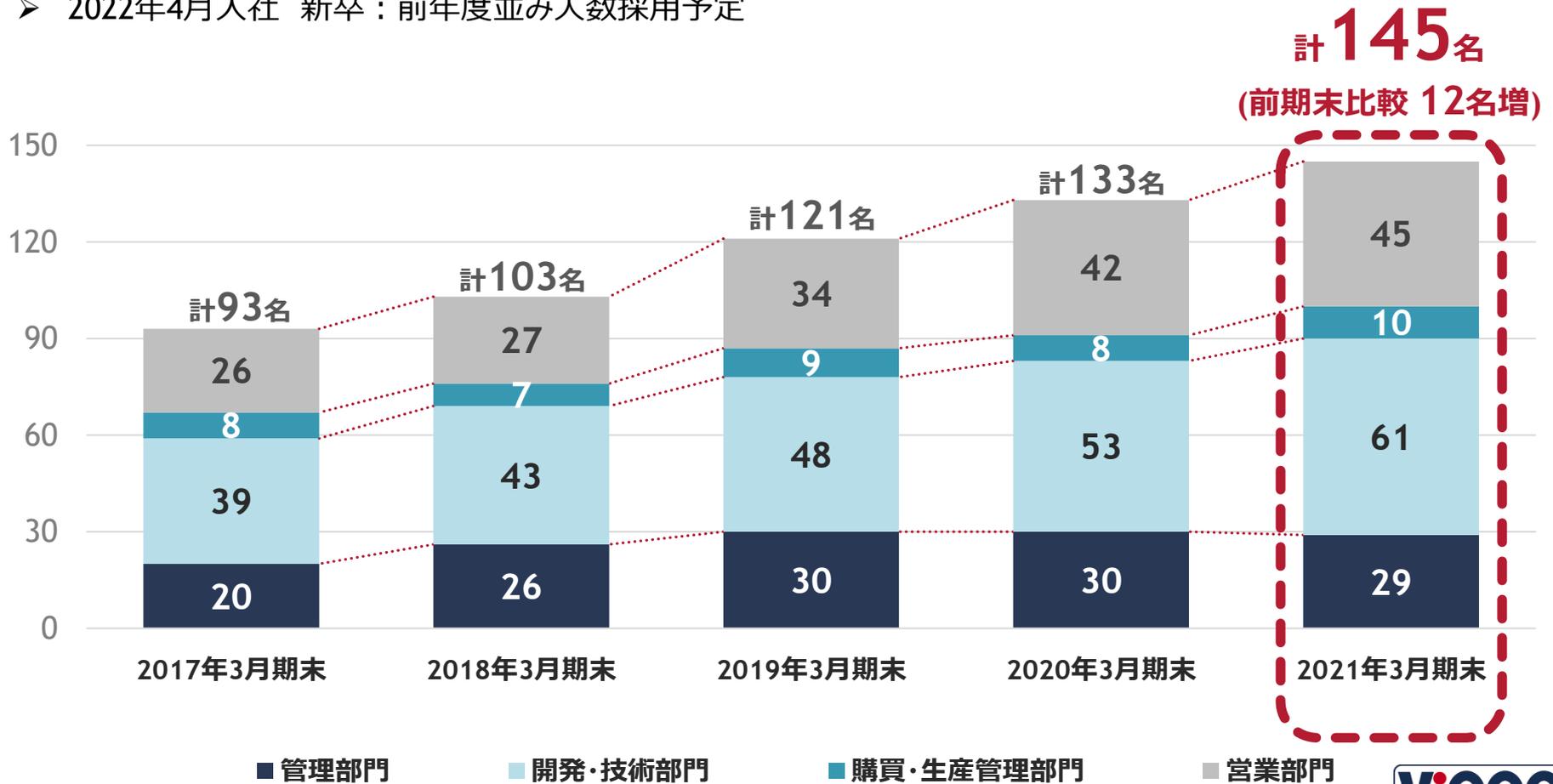
2021年 3月期 実績

(単位：百万円)	上期計	下期計	通期合計
設備投資 (ソフトウェア開発)	51	57	109
研究開発費	94	118	212
合計	145	176	321



部門別人員推移(連結)

- 2021年4月新卒入社 6名 (営業、開発・技術部門配属予定)
- 技術力・開発力の発展、営業力の強化のために人員増強
- 部門統合等により、部門間の連携体制強化、迅速な業務運営、業務効率化を図る
- 2022年4月入社 新卒：前年度並み人数採用予定



2021年3月期 期末配当（予定） 8円

前年対比1円75銭増配（2020年3月期末配当実績 6円25銭）

配当の基本方針

当社は、今後の事業展開の拡大及び経営基盤の確立のための内部留保の充実を勘案しながら、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的に配当を実施していくことを基本方針としております。

また、「究極の画像処理検査装置」開発に向けた開発投資も重要施策の一つでもありますため、当社はこの二つのバランスを考えつつ、適宜、最適な配当還元を行ってまいります。

1. 2021年 3月期 決算概要

2. 2022年 3月期 業績予想

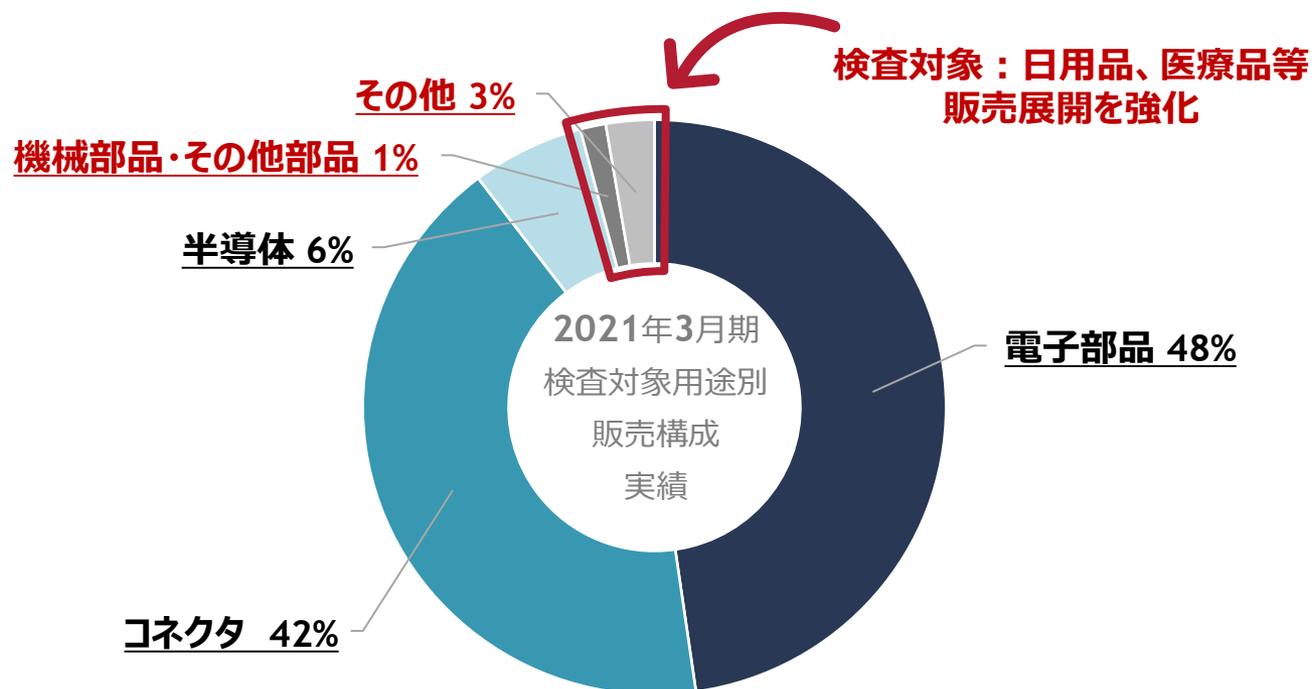
2022年 3月期 業績予想(連結)

- 日本国内、中国や東南アジアを中心とした売上が堅調に推移するものと想定
- 研究開発投資は、人的投資を中心に継続的に強化
- 創業2年目を迎えるマレーシア子会社の事業展開は順調に進捗
- 人員増強、アフターコロナを見据えた営業展開により経費増加
- 配当については未定

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	3,760	4,250	+ 489	113 %
営業利益	652	670	+ 17	103 %
経常利益	639	660	+ 20	103 %
親会社株主に帰属する当期純利益	431	440	+ 8	102 %
一株当たり当期純利益 (単位：円) (注)	67.78	69.19	+ 1.41	-

1. 事業展開

- コネクタ検査分野の更なる深堀と電子部品・半導体分野の新規顧客開拓
- 従来主力であった、コネクタ・電子部品・半導体分野以外のマーケットへの展開
- グローバルネットワークの強化
- 人員増強に伴う固定費増加



課題

進 捗

今 後 の 展 開

コネクタ分野の深堀

- 用途開発
 - ✓ 5G対応（スマホ用）コネクタの新規需要を着実に取り込み
 - ✓ 車載用コネクタ検査用途が増加
- 横展開
 - ✓ 5Gへの移行に合わせてコネクタ以外のMEMS、セラミック部品等の売上比率が上昇
- 海外展開
 - ✓ 中国を中心に海外ローカルコネクタメーカーとの取引社数が着実に増加

- ✓ 今後、更に増加が予想される車載用、アフターコロナを見据えた民生用向けなどの多様化ニーズへの対応
- ✓ 今後も継続して横展開に向けた活動を
- ✓ 中国におけるさらなる新規開拓、加えて中国以外の東南アジア地域での拡販体制

電子部品・半導体分野の開拓

- ✓ セラミック部品、MEMS向け伸長により、コネクタ依存型を徐々に解消

- ✓ 海外MEMSメーカーへのアプローチ継続
- ✓ LED、HDD分野など、さらなる注力用途での拡販

新規事業領域拡大

- ✓ ロボット分野での競業などにより、新規ニーズの掘り起こし
- ✓ 医薬関連など、その他分野から引き合い増加

- ✓ ロボット分野、AI、装置メーカーとのコラボレーションを一層強化
- ✓ 医薬、機械部品、素材、食品の新規分野拡大のための技術サポート・営業体制強化

海外展開

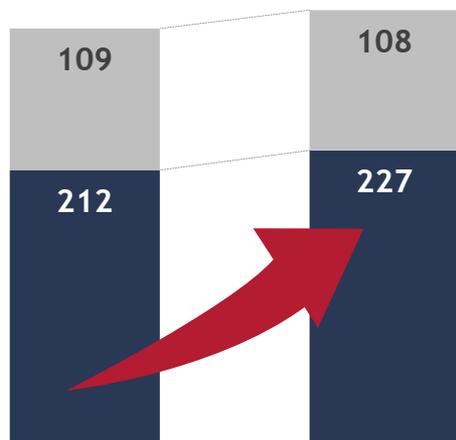
- ✓ 中国・タイにおける子会社業績は最高数値を更新
- ✓ マレーシア拠点設立で、現地進出の欧米メーカーからも引き合い

- ✓ まずは中国・東南アジアでの確固たる地位を確立
- ✓ ニーズに合わせて拠点新設も検討

2. 開発投資

- 継続して次世代アーキテクチャの開発に注力
- 汎用性の高いFA用マシンビジョンというだけでなく、より高度かつ専門的なアプリケーション開発の強化

開発投資金額
前年対比 微増



2021年3月期

2022年3月期

実績

計画

■ 研究開発

■ 設備投資

(ソフトウェア開発)

近赤外線カメラを使った検査技術（当社技術の一例）

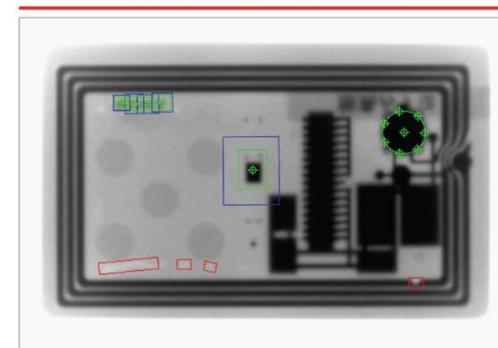


通常のカメラで撮像



ICカード (IDカード裏面無地) を蛍光灯下で撮像

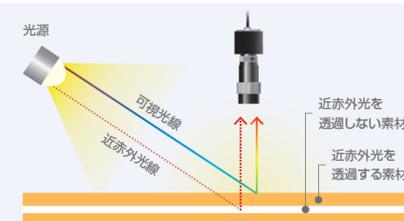
近赤外線カメラで撮像



内部の回路を可視化させ、欠陥を検出

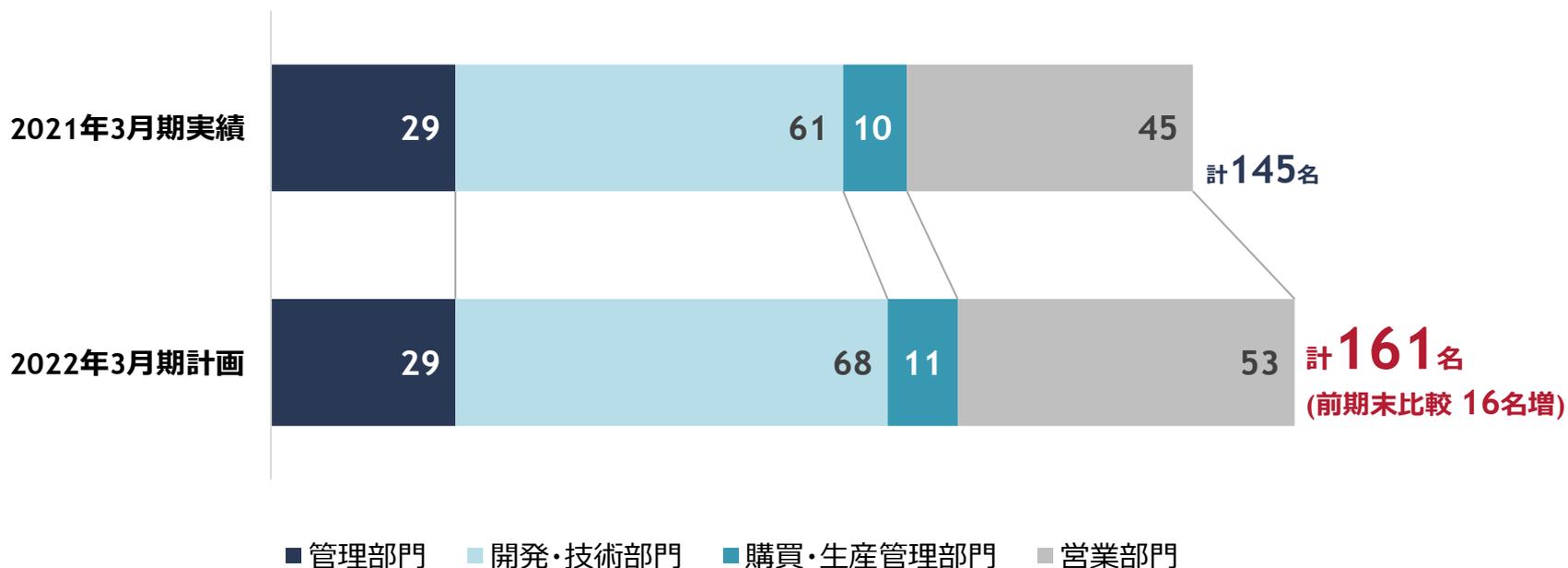
近赤外線とは

「近赤外線」は光の一種で、人間が日々見ている光の波長「可視光線」に隣接する波長範囲の一部に属し、人間の目には見えません。この近赤外線を含む光を当てると、対象物ごとの光の反射や吸収する特徴の違いによって、目に見える像とは異なる画を撮像することができます。



3. 人材開発

- 継続して、次世代を担う若手人材の採用強化（2022年春 新卒採用活動進行中）
- 専門技術者の育成強化
- 社員が、より活気に溢れ、より“面白い仕事”に打ち込める環境の整備

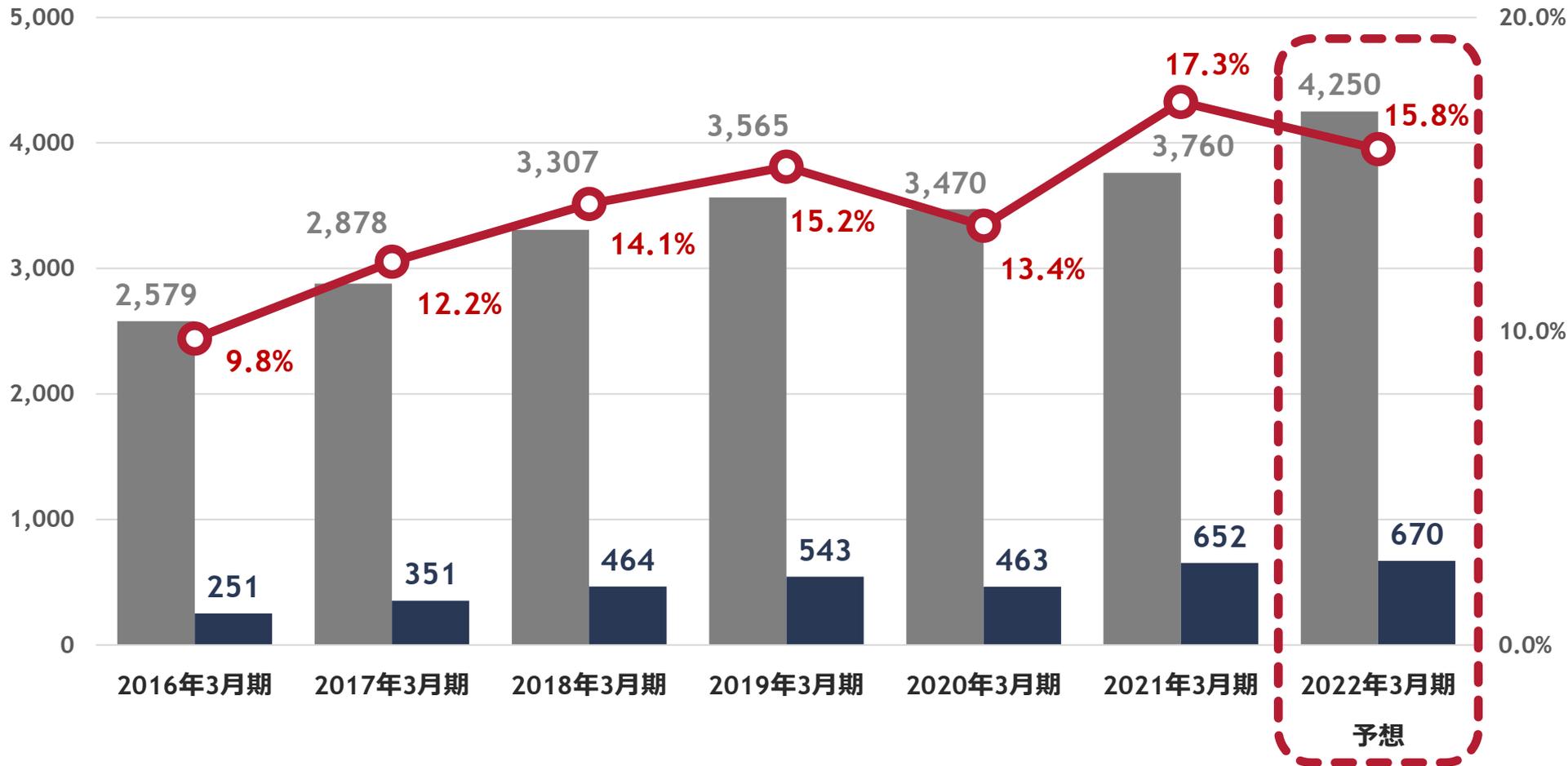


連結売上高・損益 推移(予想)

■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)





持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました2030年までの世界共通の国際目標です。SDGsでは、「誰一人取り残さない（No one will be left behind）」という基本理念のもと、SDGsが掲げる17の目標は、官民、営利、非営利、組織、個人の区別なく、持続可能な世界を目指し、皆で協力して取り組むことが求められています。

サステナビリティ基本方針

ヴィスコ・テクノロジーズグループは

あらゆるステークホルダーの期待を受け止め

企業理念に掲げる「画像一筋」に従い

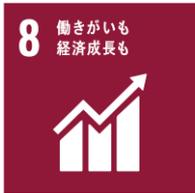
事業活動を通じて

持続可能な社会の実現と

企業価値の向上を目指します

サステナビリティ重点課題

事業活動による取り組み



事業活動を支える取り組み



当社グループは、当社製品・サービスをご提供することで、産業革新の促進、工場等の生産性や効率性の向上、働く人々の安心安全な労働環境確保を追求し続けてまいります。
また、活発で多様性のある組織づくりを目指し、従業員の「幸せ」を追求するのとともに、平和で公正な社会の実現に向けて事業活動を続けてまいります。

* 中期経営計画について

当社は、2021年3月期までの中期経営計画を昨年11月に一旦取り下げを行いました。当期決算の公表と同タイミングで新中期経営計画を発表したいと考えておりましたが、未だ世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症が、当社に關与する業界の一部において影響を受けており、先行きの不透明感が完全に払拭できていないことから、状況を慎重に見極めたうえで改めまして適切なタイミングで当社中長期ビジョンを公表いたします。

これまでの3年間、米中貿易摩擦に起因する景気減速など、想定以上の経済環境の変化もあり、当初目標は未達に終わりましたが、当社の経営理念、経営戦略には変更なく、取り組んできた個々の課題については、着実に進捗し、成果を上げていると考えております。

今後とも皆様のご期待に沿えるよう、企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Appendix

会社概要

画像処理検査といえば “ ViSCO ”

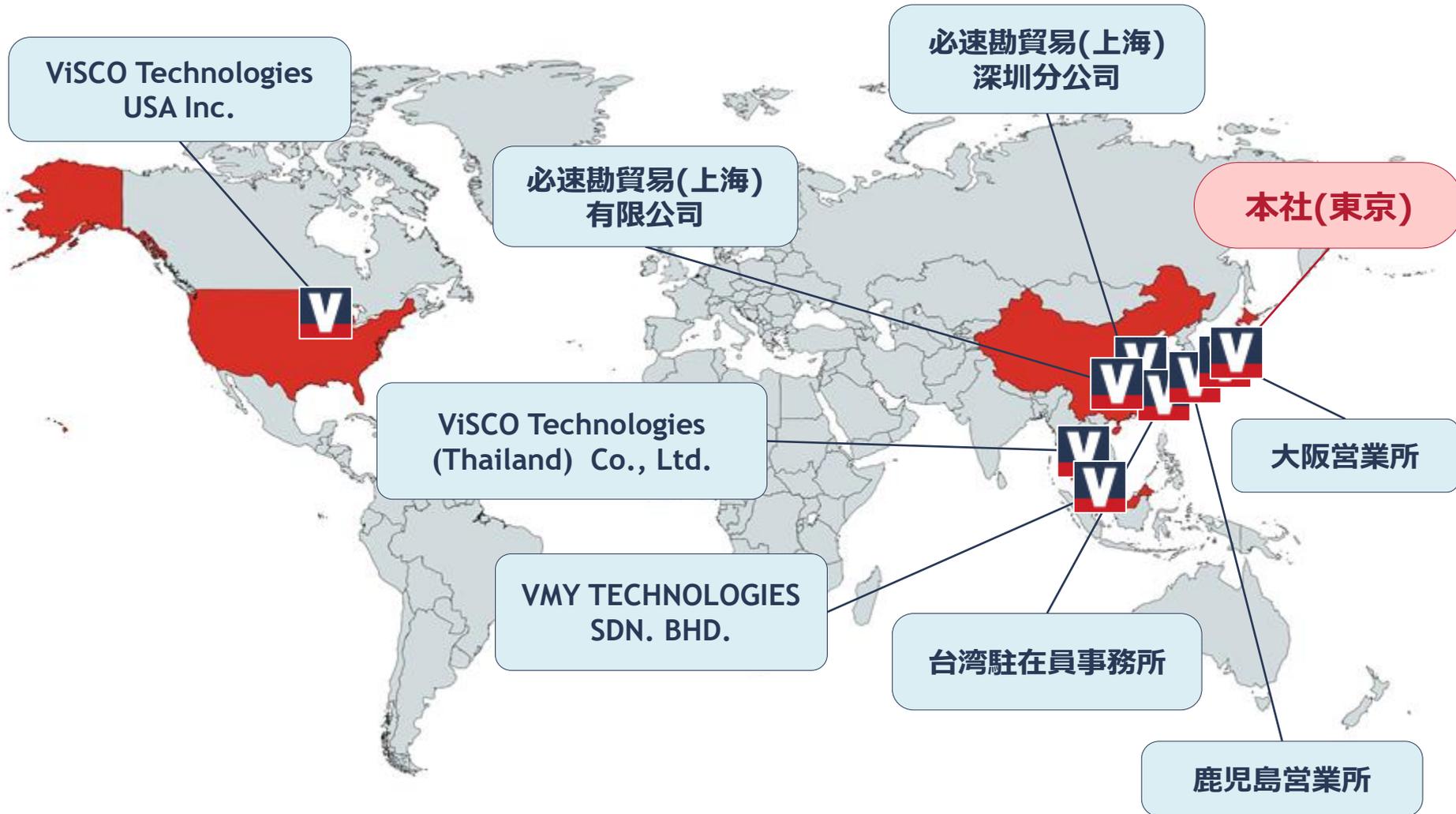
画像処理技術を広めることにより
豊かな社会づくりに貢献する

画像-筋

“究極の画像処理システム”
を追及する

顧客満足度の高い画像ビジネスの
トータル・ソリューションを創造し、
画像処理システムクリエイターとなる

会社名	ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長	足立 秀之
本社所在地	東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー
設立	2003年8月
資本金	491百万円（2021年 3月末現在）
国内事業拠点	大阪、鹿児島
海外事業拠点	中国（上海、深圳）、タイ（バンコク）、米国（イリノイ州）、マレーシア（ペナン州）、台湾（台北）
従業員数	145名（2021年 3月末現在）
事業内容	画像処理検査装置の開発、製造、販売
証券コード	東京証券取引所市場第二部 （6698）



2003年 8月



ViSCO Technologies 株式会社 設立

私たちは、画像一筋です。

2008年 3月

筐体型画像処理検査装置VTV-9000 シリーズ発売



2010年 3月



必速勘貿易(上海)有限公司 設立

2012年 2月



ViSCO Technologies (Thailand)Co., Ltd. 設立

2014年 3月



ViSCO Technologies USA, Inc. 設立

2017年 12月

東京証券取引所 JAQSDAQ (スタンダード) 市場 株式上場

2018年 12月

東京証券取引所 市場第二部 上場市場変更

2019年 10月



VMY TECHNOLOGIES SDN. BHD. 設立

IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

Tel : 03-6402-4500

Mail : info-ir@visco-tech.com

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。